

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

令和7年度 八重山地域の木育はじめ(@県立病院) 6月27日(金)

令和7年6月27日、病院労組 八重山病院支部の主催で、県立八重山病院において木育を行った。

沖縄県では、令和5年1月に、「沖縄県ウッドスタート宣言」を行い、木材を生活の中で積極的に利活用する意義を広く県民に普及する取り組みである「木育」を推進することとしている。今回の木育では、参加者自らがおきなわの木に触れることで木の良さに気づき、それを生み出す森林にも関心をもってもらうことを目的にして、森が人々の暮らしにもたらす恵み、また再生可能な資源である木材の循環利用の意義等について座学を行った。

併せて参加者が楽しみにしている石垣島の木の八重山ミンサー柄コースター作り体験を実施した。材料は、令和4年度に、県の木育キット開発委託業務により考案され、(有)うえざと木工が製作した、リュウキュウマツやテリハボク等の島を代表する樹種6種からなるキットを使用し、20名の参加者に対して用意した60セットが全て無くなるほどの大好評であった。

参加者からは、次回開催を希望する声も聞かれ、普及員としては、今後も木育等の県産木材に普及PRを通じて、島の木を好きになって、少しでも生活に取り込んでもらえるように活動を続けていきたい。



(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)